

2016年2月13日(土)

14:00～17:00

阪南大学本キャンパス

1号館2階フロンティアホール

阪南大学大学院

学術シンポジウム

「観光×ICTの融合と 相乗効果

— 新たな可能性を求めて —

司会/コーディネーター **吉兼 秀夫**

(阪南大学国際観光学部教授/阪南大学大学院教授)

【講演者・テーマ】

来村 多加史

(阪南大学国際観光学部教授)

「観光ナビゲーションアプリに
求められる情報」

花川 典子

(阪南大学経営情報学部/

阪南大学大学院教授)

「情報フロンティアとしての観光
ビジネス—寺内町デジタル観光
マップの開発—」

牧田 拓樹

(公益財団法人 大阪観光局

魅力創造部観光インフラ担当部長/

経営企画部情報発信担当部長)

「OSAKA FREE WI-FI,
OSAKA ENJOY RALLYに
ついて」

藤原 雅彦

(摂陽観光代表者)

「わが社の観光サービスにおける
情報提供戦略」

趣旨： 海外からの観光客の9割以上は、インターネットの観光情報を活用し、日本に訪れている。旅行中も様々な面において ICT が利活用されており、各種予約、NFCなどの電子決済をはじめ、観光における“Wi-Fi”やモバイルAPPによる観光情報サービスは、必要不可欠なツールになっている。観光事業とICTの融合と相乗効果は、地域振興や経済の活性化につながる新たな経済成長の可能性として生まれてきている。

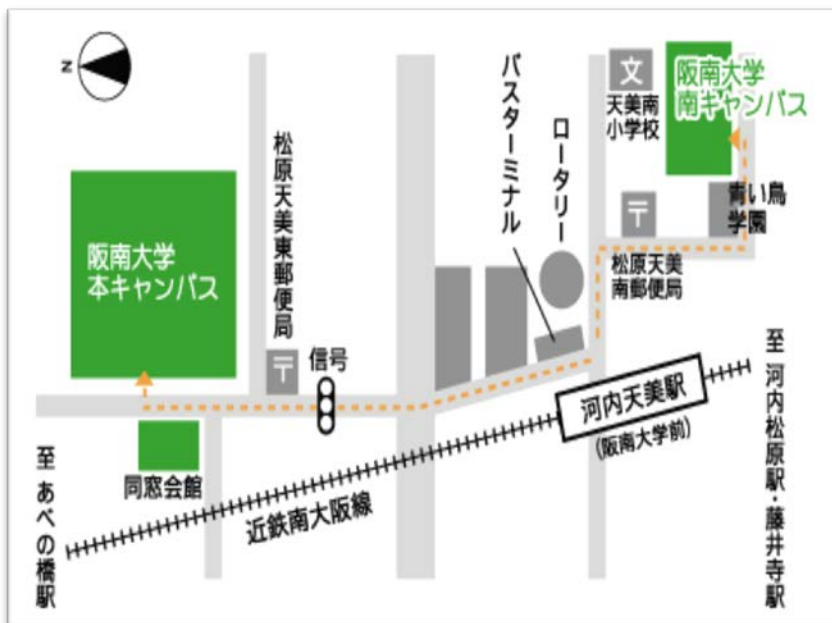
本学は、これまで産官学連携、観光学教育においてこの両者を融合させた連携事業や研究を実践してきた。これらの取り組み事例を交え、これからのICTと観光ビジネスを融合させた研究教育とビジネスのあり方を産官学それぞれの立場から課題と可能性を展望する。

プログラム：

1. 開会 -----14:00
2. 学長挨拶 阪南大学長 井上 博
3. 研究科長挨拶 阪南大学大学院企業情報研究科長 洪 詩鴻
4. 事例報告-----14:15～16:05
 来村多加史、花川典子、牧田拓樹、藤原雅彦
5. パネルディスカッション--16:15～17:00
 パネリスト：来村多加史、花川典子、牧田拓樹、藤原雅彦
 コーディネーター：吉兼秀夫
6. 閉会-----17:00

参加無料

申込み不要



- 近鉄南大阪線 河内天美駅(阪南大学前)
下車 北へ徒歩6分
- 会場は本キャンパスです。南キャンパスとお間違いのないようご注意ください。
- 駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ先】

阪南大学教務部教務課（大学院担当）
TEL 072-332-1224(代)
e-mail : kyomu@office.hannan-u.ac.jp